

奈良県環境アドバイザープロフィール

ふりがな	よねもと けいこ
氏名	米本 桂子
所属・役職	ESD・環境教育団体 satosato 代表
略歴	<p>2007年 近畿大学大学院農学研究科修士課程修了</p> <p>2007年～2019年 学校法人近畿大学ビオトープ専門技術職</p> <p>2010年 奈良県環境アドバイザー就任</p> <p>2019年 ESD・環境教育団体 satosatro 設立、代表就任</p> <p>2022年 (一社)奈良地域デザイン研究所研究員就任</p> <p>同年 (公財)大阪みどりのトラスト協会 みどりの輪活動支援事業アドバイザー就任</p>
専門分野	学校・園庭ビオトープづくりと ESD・環境教育
派遣を希望される団体へのメッセージ	<p>幼稚園、保育園、小中高等学校を対象に、学校・園庭ビオトープでの自然体験を通して、自然が好きで、なくなつてほしくないと感じる心を育み、自分は自然を守るために何ができるか考え・行動する ESD・環境教育活動を行っています。</p> <p>学校・園庭ビオトープは、園児さんや児童さん、先生方、保護者や地域の皆さんと一緒に、できる限り手作りで創っています。完成後も、生物多様性と教育効果を高める「お手伝い（伴奏支援）」をしています。</p> <p>学校・園庭ビオトープは、自然体験が希薄な現代の子どもたちにとって、大切な身近な自然環境であり、体験学習の場です。</p> <p>本物に触れる体験学習は、子どもたちの情操豊かな心を育むだけでなく、持続可能な社会づくりに必要な環境意識や自己肯定感も高めます。しかし、先生からは、うまく育成管理、学習での活用、引継ぎ等ができず、ずっと使っていないと相談を受けることがとても多いです。</p> <p>先生方のご不安や心配ごとが少しでも小さくなるよう、学校・園庭ビオトープの意味や役割、創り方・育成管理の方法・授業での活用の事例、長く続ける秘訣など、何でもお答えしますので、お声がけください。</p>

<p>関連サイト</p>	<p>https://satosato-donguri.jimdofree.com/ https://www.facebook.com/sato2donguri</p>
<p>講演実績等</p>	<p>日本 ESD 学会第 6 回大会 (2023) 「自然体験学習が児童の環境意識と自己肯定感に与える影響」</p> <p>日本 ESD 学会第 7 回大会 (2024) 「持続可能な地域の生物多様性保全に向けた学校ビオトープ池を題材とした環境教育と保護者協働活動の実践」</p> <p>(一社) 奈良地域デザイン研究所主催 博報賞受賞記念講演会 (2024) 「人と自然の共生を目指して～豊かな人間性と SDG s への貢献～ 雲雀丘学園小学校 (宝塚市) の取り組み事例から」</p> <p>公財) 博報堂教育財団主催第 54 回「博報賞」受賞 (兵庫県 雲雀丘学園小学校)</p> <p>公財) 日本生態系協会主催全国学校・園庭ビオトープコンクール 2023 「学校・園庭ビオトープ賞」受賞 (兵庫県 雲雀丘学園小学校)</p>